令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事

図面目録

図番	図面名称	縮尺(A1)	備　　考
1/9	特記仕様書(1)	――	
2/9	特記仕様書(2)	――	
3/9	特記仕様書(3)	――	
4/9	造成計画平面図	1:150	
5/9	施設計画平面図	1:150	
6/9	標準断面図	1:80	
7/9	配置図	1:200	
8/9	構造図(1)	図 示	大型四阿
9/9	構造図(2)	図 示	舗装・縁石構造図

環境省　近畿環境局

令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿整備工事

特記仕様書

Ⅰ. 工事概要　四阿設置工事　一式

1．工事場所　和歌山県田辺市天神崎

2．工　期　契約締結日から令和９年３月２６日まで

3．工事種目　(1) 四阿工　１基
建築面積　14.58㎡
延べ面積　28.98㎡

(2) 舗装工　一式

4．指定部分　・有 ⊙無　対象部分（　　）
指定部分工期　年　月　日

5．工事範囲
※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち　　の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	
3 土・地業・基礎 工事	
4 木造工事	
5 軸組構法（壁構造系）工事	
6 軸組構法（軸構造系）工事	
7 枠組壁工法工事	
8 丸太組構法工事	
9 ＣＬＴパネル工法工事	
10 木工事	
11 防水工事	
12 石工事	
13 タイル工事	
14 屋根及びとい工事	
15 金属工事	
16 左官工事	
17 建具工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 断熱・防露、ユニット及びその他工事	
21 排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽工事	

Ⅱ. 建築工事仕様

（１）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、〇を付けたものを適用する。
・建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

（２）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

（３）本特記仕様書の表記
１）項目は、番号に⊙ 印のついたものを適用する。
２）特記事項は、⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙ 印と ☒ 印のついた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の〈　　〉内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
４）特記事項に記載の〈　　〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
５）G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。
グリーン購入法に基づく、環境物品等の調達に関する基本方針（以下「基本方針」という）（環境省ホームページに掲載）（毎年２月改定）において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。また、「特定調達品目」の調達の実績（設備及び公共工事）について、当該年度の調達実績集計表（物品・役務及び公共工事）を環境省ホームページからダウンロード、Excel ファイルで作成し、提出する。
６）「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用量について、Excel・Word ファイルで作成し、提出する。

Ⅲ. 現場及び技術に係わる事項

（１）情報共有システム
※本工事は、情報共有システム利用対象工事である。
詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領（案）」による。
⊙本工事は、情報共有システム対象外工事である。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	⊙適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo=34m/s以下） 地表面粗度区分　(⊙Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ) ⊙積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（一）30cm未満を想定
	・環境への配慮	〈1.4.1〉 １）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20 条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20 条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20 条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	・材料の品質等	〈1.4.2〉 １）本工事に使用する材料は、特記なき限り設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 ２）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 ３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ４）本工事に使用する材料のうち、５）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 ５）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ・
2 仮設工事	⊙足場等	〈2.2.4〉 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
3-1 土工事	⊙埋戻し及び盛土	(3.2.3) 材料及び工法 ※標準仕様書表3.2.1による 種別 ・A種　適用場所（　　） ⊙B種　適用場所（　基礎部　） ・C種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　） ・D種　適用場所（　　） （品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） ・材料（　　）　工法（　　）
3-2 地業工事	⊙ 砂利地業	(4.6.2)(4.6.3) 材料 砂利　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石 範囲 ⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・図示による（　　） 厚さ ※60㎜　⊙150㎜
	⊙捨コンクリート地業	(4.6.4) 範囲 ⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・図示による（　　） 厚さ ※50㎜　・ 設計基準強度 ※18N/㎟
3-3 コンクリート工事	⊙ コンクリートの種類	コンクリートの類別　(6.2.1) ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）
	⊙ 骨材	(6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A　・B
	⊙ 無筋コンクリート	(6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート　・ セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G 設計基準強度 ※18N/㎟　・ スランプ ※15cm又は18cm　⊙8cm 適用箇所 ※標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による　・
	⊙ 型枠	(6.8.2) せき板の材料及び厚さ ⊙合板（※12㎜　・　）G　・
4 木造工事	⊙防腐・防蟻処理	〈4.2.1〉 防腐・防蟻処理が不要な材種による製材 適用部材（部位）／防腐・防蟻処理が不要な材種 ・／・ ・／・ ・／・ 工場における薬剤の加圧注入等による防腐・防蟻処理 適用部材（部位）／薬剤の加圧注入等 ・　木材は全て加工種／・K2　・K3　⊙K4　・AQ3　・AQ2　⊙AQ1 ・／・ ・／・ ⊙木造標準仕様書4.2.1(1)(ｲ)(b)に基づく加圧式保存処理の場合 保存処理の性能　（　K4AQ1種　） インサイジング ・適用する　・適用しない ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 薬剤の種類／適用部材（部位） ※木造標準仕様書4.2.1(1)(ｲ)(a)による／⊙柱脚部 ・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による場合（　　）／・ ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部材（部位）／処理の方法 ・／・ ・／・ ・／・ ・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 保存処理の性能区分 ・K3　・AQ2 適用部材（部位）　・図示による　・ ・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理　〈4.2.2〉 木造標準仕様書4.2.2　・(ｱ)による　・(ｲ)による ・土壌の防蟻処理　〈4.2.3〉 使用する薬剤（　　） 処理方法及び使用量　・ ・帯状散布（帯状の幅：約　cm） 液剤：処理長さ　L/m 粒剤：（　　） ・面状散布 液剤：処理長さ　L/㎡ 粒剤：（　　）
5 軸組構法（軸構造系）工事	⊙木材	〈6.2.2〉 軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表３による
	⊙構造用面材	〈6.2.3〉 軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表４による
	⊙接合金物	〈6.2.4〉 Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 種類／材質／寸法・形状等／備考 ・／／／ ・／／／ 表面処理 木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④ ・⑦　・④　・⑦　・① Z、C、x、D、Sマーク表示金物 種類／記号／短期許容耐力(kN)／その他 ・火打金物／／／ ・筋交いプレート／／／ ・引き寄せ金物／／／ ・梁受け金物／／／ ・／／／ Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
	⊙釘、木ねじ等	〈6.2.4〉〈6.5.10〉 釘（JIS A 5508） 種類／材質／その他 ・鉄丸くぎ／表面処理された鉄／ ・太め鉄丸くぎ／表面処理された鉄／ ・／／ ・／／
	⊙ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	木ねじ（JIS B1112又はJIS B 1135） 種類／材質／その他 ・十字穴付き木ねじ／ステンレス製／JIS B 1112 ・すりわり付き木ねじ／ステンレス製／JIS B 1135 ・釘（JIS A 5508）、木ねじ（JIS B 1112 又は JIS B 1135）に規定されているもの以外の接合具、接合金物用接合具等 材質（　　） 寸法及び形状　・図示による　・ 〈6.2.4〉〈6.5.11〉 Z、C、x、D、Sマーク表示金物 種類／記号／その他 ・アンカーボルト／／ ・六角ボルト／／ ・座金／／ ・／／ Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 種類／材質／寸法・形状等／備考 ・／／／ ・／／／ ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造特記仕様書表6.2.2による　・ 寸法　・図示による　・ 座金の種別　・引張り応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表6.2.3（　　） ・せん断応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表6.2.4（　　） 表面処理 木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④ ・⑦　・④　・⑦　・① アンカーボルト、ナット及び座金 材質　・　・ 寸法　・図示による　・ 座金の種別　・引張り応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表6.2.3（　　） ・せん断応力を受けるボルトの座金　木造標準仕様書表6.2.4（　　） 表面処理 木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④ ・⑦　・④　・⑦　・①
	⊙ラグスクリュー	〈6.2.4〉〈6.5.12〉 Z、C、x、D、Sマーク表示金物 種類／記号／その他 ・ラグスクリュー／／ ・／／／ Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー 種類／材質等／寸法・形状等 ・ラグスクリュー／木造標準仕様書表6.2.2のボルトによる／ ・／／／ 表面処理 木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④ ・⑦　・④　・⑦　・① 構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法 ・図示による　・
	・ドリフトピン	〈6.2.4〉〈6.5.13〉 種類／材質等／寸法・形状等 ・ドリフトピン／※SS400(JIS G 3101)・／※丸鋼(JIS G 3191)(径：　)・ ・／／／ 表面処理 木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④ ・⑦　・④　・⑦　・① 構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法 ・図示による　・
	⊙木栓及び木だぼ	〈6.2.4〉〈6.5.14〉 種類／樹種名／形状・長さ・木だぼ径等／その他 ・木栓／／／ ・木だぼ／／／
	・接着剤	〈6.2.4〉 ・床鳴り防止用接着剤 床根太用接着剤　JIS A 5550に基づく接着剤の種類（　　） ・接着剤による接合 接着剤の種類（　　） ・接着剤と併用した場合 接着剤の種類（　　）
	・現寸図	〈6.4.2〉 床書き現寸図を作成する
	⊙孔あけ加工	〈6.4.5〉 ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ ※木造特記仕様書表6.4.1による ・図示による ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示による

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿建築工事		
図面名	特記仕様書（１）		
年月日	令和8年7月		
縮尺	―	図面番号	1/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

6 木工事

⊙表面の仕上げ 〈6.4.6〉〈18.12.2〉

見え掛り面の表面の仕上げの程度
・製材
機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 〈表6.4.2〉
手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 〈表6.4.4〉
・構造用集成材
機械加工 ・A種 ※B種 〈表6.4.3〉
・木材保護塗料塗り 〈18.12.2〉
標準仕様書表18.12.1による
施工箇所 ・図示による
種別 ・A種 ※B種

⊙アンカーボルトの設置等 〈6.5.3〉

埋込み深さ ・図示による ・
保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種
埋込み位置の許容誤差
※±5mm（JASS6 付則6［鉄骨精度検査基準］付表5［工事現場］(3)による）

・基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ 〈6.5.4〉(15.3.2)

材料 ・木造標準仕様書6.5.4(7)による ・無収縮モルタル
モルタルの厚さ ・図示による
柱底均しモルタルの工法 ・A種 ※B種

⊙建方精度 〈6.5.7〉

建入れ直し後の建方精度の許容値（垂直、水平の誤差の範囲）
※1/1,000以下 ・

⊙接合金物の工法 〈6.5.9〉

構造物を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金属の取付け方法
・図示による ・
熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
・埋め木
・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材
・

⊙釘、木ねじ等の工法 〈6.5.10〉

釘、木ねじ等の種類及び間隔
・図示による ・
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち ・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し

・各種ボルトの工法 〈6.5.11〉

ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ
・図示による ・
構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法
・図示による ・

・輪型ジベル接合 〈6.5.15〉

輪型ジベル

種類	材質・形状・寸法等
・	

・圧入型ジベル接合 〈6.5.16〉

圧入型ジベル

種類	材質・形状・寸法等
・	

・火打土台 〈6.6.2〉

・木製の火打土台
・鋼製の火打土台

⊙火打梁 〈6.7.8〉〈6.8.6〉

小屋組の火打梁 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁
床組の火打梁 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁

・床束 〈6.8.2〉

・木製床束
・鋼製床束
仕様及び設置方法
・図示による
・樹脂製床束
仕様及び設置方法
・図示による

⊙材料 〈10.2.2〉

木工事に使用する木材等は、使用材料表９による

〈10.2.3〉

木工事に使用する合板等は、使用材料表10による

⊙表面仕上げ 〈10.1.3〉〈表10.1.1、2〉

見え掛り面の表面の仕上げの程度
・製材
機械加工 ・A種 ・B種 ・C種
手加工 ※内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
・造作用集成材
機械加工 ・A種 ・B種 ・C種

⊙釘、木ねじ等 〈10.2.4〉

釘（JIS A 5508）

種類	材質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・		

・釘（JIS A 5508）に規定されているもの以外
材質 （ ）
造作材化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し

木ねじ（JIS B1112又はJIS B 1135）

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
・		

・木ねじ（JIS B 1112又はJIS B 1135）に規定されているもの以外の木ねじ
材質 （ ）

⊙耐候性処理 〈10.3.1〉(18.12.2)

屋外に使用する仕上げ木材
・木材保護塗料塗り
標準仕様書表18.12.1による
施工箇所 ※図示による
種別 ・A種 ※B種

7 屋根及びとい工事

⊙スレート葺 〈14.6.2〉

種類	寸法(mm)（全長さ×全幅）	役物 棟	役物 けらば	着色(色調)	備考
着色ｽﾚｰﾄ		⊙	・	・無 ⊙有（ ）	
		・	・	・無 ・有（ ）	

工法 〈14.6.3〉
1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め ・設置する（図示による）
⊙設置しない

8 塗装工事

・材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所： ）

⊙素地ごしらえ (18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面		※B種 ・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種 ・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

・錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料の工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	見え掛り：A種
	EP-G	※B種 ・A種	表18.3.4 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	鋼製建具等：A種 上記以外 ：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外 ：B種

⊙塗装 (18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用G
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種	—	—
	木部屋内	※B種 ・A種		—
	鉄鋼面	※B種 ・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—		・適用する
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種	—	—
⊙アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	—	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級（ ）級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級（ ）級	—
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種	—	—
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 モルタル面 プラスター面 せっこうボード面 その他ボード面等	※B種 ・A種	—	—
	屋内の木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種 ・A種	—	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)				
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種	—	—
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	—	—
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	—	—

高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする
クリアーラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

9 排水工事

⊙街きょ、縁石及び側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝	形状、寸法
・縁石	・図示による ・
・L形側溝	・図示による ・
・U形側溝	・図示による ・
・U形側溝ふた	・図示による ・
・	・図示による ・

砂地業に用いる材料
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G ・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm） ※100 ・図示による
・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度（N/mm2） ※18 ・
・スランプ（cm） ※15又は18 ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・
凍上抑制層に用いる材料 ・
（砂を用いる場合の粒度試験） ・行う
・行わない

10 舗装工事

⊙ ブロック系舗装 (22.8.2、3)

・コンクリート平板舗装 G

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※ 60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材 ※砂 ・空練りモルタル
普通平板は G（再生材1料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性 ・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする
・

⊙ インターロッキングブロック舗装 G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材 ※砂 ・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする
・

11 軸組工法（軸構造系）

〈使用材料表３〉 (6.2.2)

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 G

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	材面の品質	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	保存処理	間伐材等の適用
			・1種・2種・3種	・A ・B ・C				・
								・
								・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・1等 ・2等	・
							・
							・

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材 G

施工箇所	品名	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	曲げ性能（曲げﾔﾝｸﾞ係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
	・A種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（ ） 等級 ・特級・1級・2級			・
	・B種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（ ）			・
								・
								・

・JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材 G

施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・甲種構造材 ・甲種Ⅰ ・甲種Ⅱ ・乙種構造材	・1級 ・2級 ・3級		・SD15 ・SD20		・
							・
							・

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（曲げ性能）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ・SD20		・
						・
						・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 G

施工箇所	樹種名	区分	寸法(mm)	等級（材面の品質）	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

（注）無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材－第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

（参考）JAS 1083-4 製材－第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準（等級と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率（Gpa又は10^3N/mm^2）	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 G

施工箇所	樹種	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・1等 ・2等		・SD15 ・SD20		・
						・
						・

・加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材： ）

・無等級材 G

施工箇所	寸法(mm)	樹種	含水率(%)	保存処理	強度試験	材面の品質	間伐材等の適用
					・JAS 1083-4 製材－第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験（対象部材： ） ・縦振動ヤング係数測定（対象部材： ）	・JAS 1083-4 製材－第4部：機械等級区分構造用製材	・
							・
							・

・JAS 1083-5 製材－第5部に基づく下地用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法（mm）	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・SD15 ・SD20		・
						・
						・

・JAS 0600に基づく甲種枠組材 G

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・特級 ・1級 ・2級 ・3級	・
						・
						・

・JAS 0600に基づく乙種枠組材 G

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	・
						・
						・

・JAS 0600に基づくMSR枠組材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
	MSR				・未乾燥材 ・乾燥材	・ ・
						・
						・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・JAS 0600に基づくたて枠用たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて枠用たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づくMSRたて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	MSRたて継ぎ材				・
					・
					・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・木質接着成形軸材料 G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿建築工事		
図面名	特記仕様書（２）		
年月日	令和8年7月		
縮尺	―	図面番号	2/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

・木質複合軸材料 G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質断熱複合パネル G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質接着複合パネル G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・JAS 3079に基づく直交集成板 G

施工箇所	品名	強度等級(曲げ性能)	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
	・異等級構成直交集成材 ・同一等級構成直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・
							・
							・

〈使用材料表４〉

〈6.2.3〉

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能(強度等級)	防虫処理の適用	単板の樹種名	間伐材等の適用
	構造用合板		・1類 ・特類	・2級 ・1級			・適用する（　　） ・適用しない		・ ・
									・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用合板		・1類　・特類		・
					・
					・

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

・JAS 0360に基づく構造用パネル G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
	構造用パネル		・1級　・2級　・3級　・4級	・
				・
				・

12 木工事で使用する材料表

〈使用材料表９〉

〈10.2.2〉

・JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・1級　※2級		・SD15　・SD20		・
						・
						・

・JAS 1083-2　製材 - 第2部に基づく造作用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		・上小節　・				・
見え掛り面以外		・小節以上　・				・
						・

・JAS 1083-6　製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ※1等　・2等		※10以下 ・13以下		・
						・
						・

・JAS 1083（製材）以外の下地針葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・
								・
								・

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
								・
								・

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する（　　） ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
								・
								・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 G

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数（面）	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	・
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成柱 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				※1等 ・2等	・ ・
							・
							・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				※1等 ・2等	・ ・
							・
							・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	間伐材等の適用
				※15以下　・	・
					・
					・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	間伐材等の適用
	芯材： 化粧薄板：				※15以下　・	・ ・
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	間伐材等の適用
					※15以下　・	・ ・
						・
						・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 G

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	・造作用単板積層材		・無（・1等　・2等　・3等） ・有（・天然木化粧加工　・塗装加工）	・適用する（　） ・適用しない	・
					・
					・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材 G

施工箇所	寸法(mm)	表面の化粧加工	含水率(%)	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・無（　　） ・有（・天然木化粧加工　・塗装加工）	※14以下 ・	・適用する（　） ・適用しない	・
					・
					・

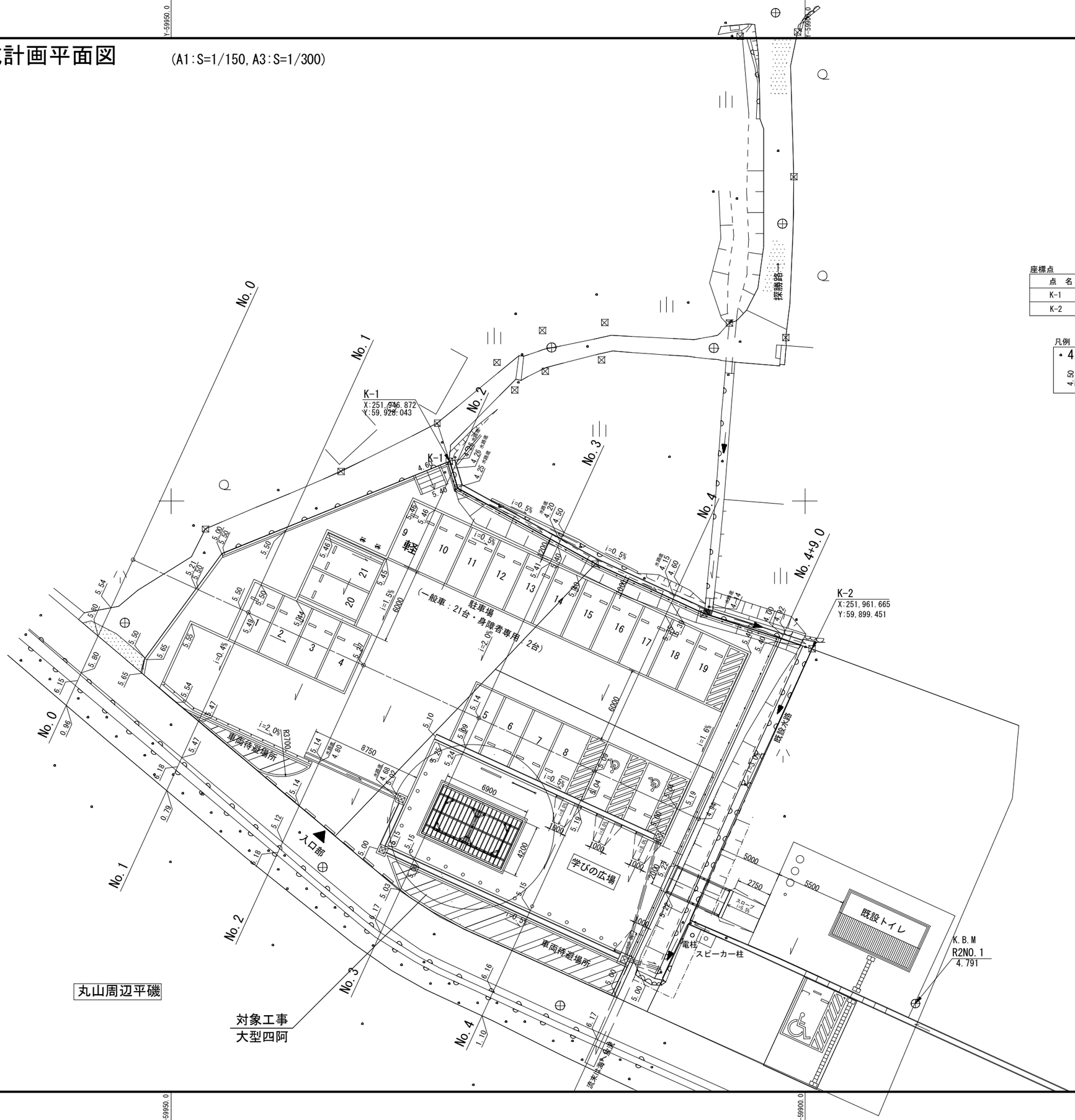
・JAS 3079に基づく直交集成板 G

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
	・異等級構成直交集成材 ・同一等級構成直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・
							・
							・

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿建築工事
図面名	特記仕様書（３）
年月日	令和8年7月
縮尺	― 図面番号 3/9
受注者名	
発注者名	環境省近畿環境局

造成計画平面図

(A1:S=1/150, A3:S=1/300)



座標点

点　名	X　座　標	Y　座　標
K-1	251,946.872	59,928.043
K-2	251,961.665	59,899.451

凡例

- 4.66 ：現況地盤高
- 4.50 ：計画地盤高

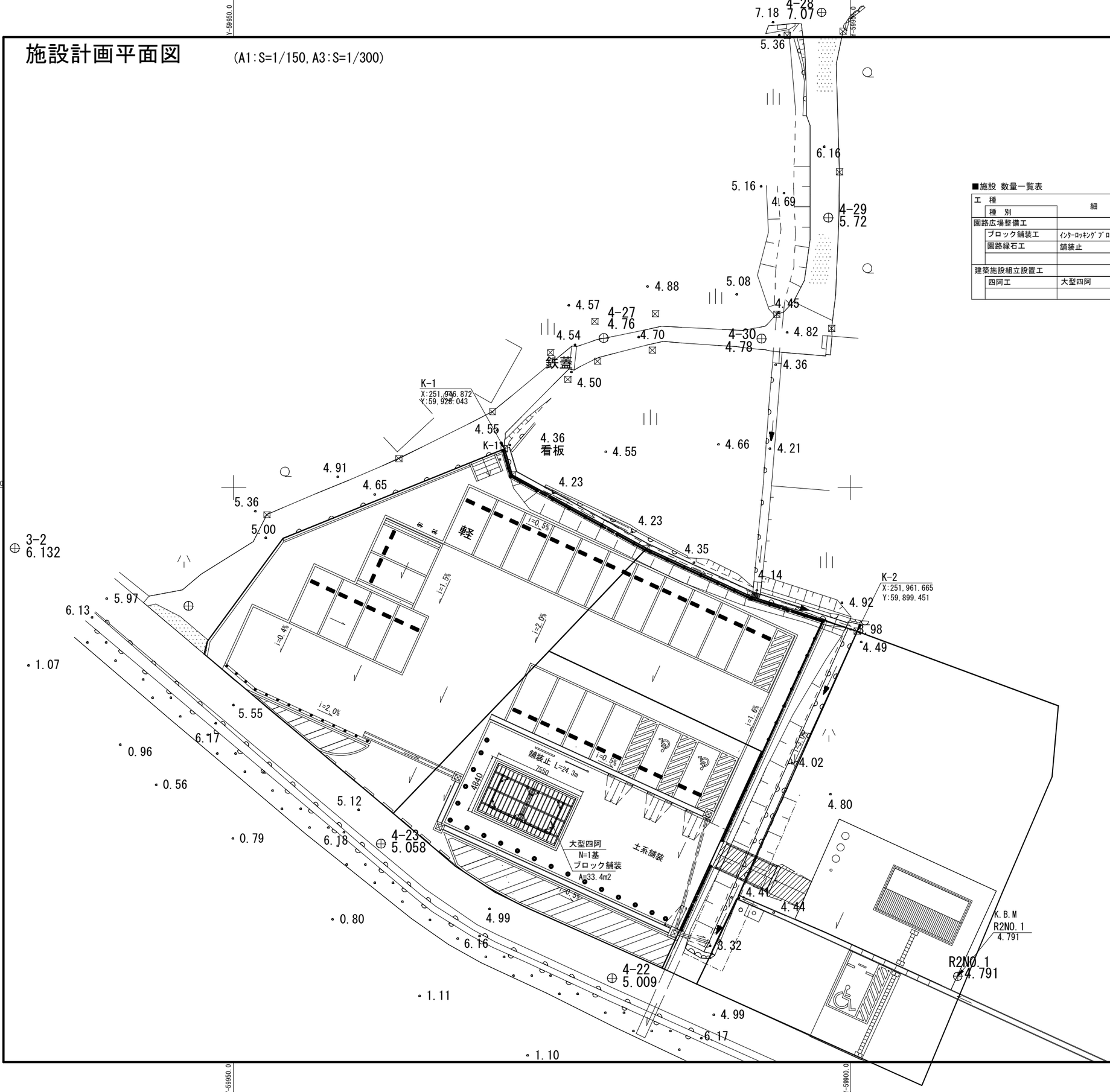
四阿設置場所(現況状況写真)



工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事		
図面名	造成計画平面図		
年月日	令和8年7月		
縮尺	1/150	図面番号	4/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

施設計画平面図

(A1:S=1/150,A3:S=1/300)



■施設 数量一覧表

工種 / 種別	細別	記号	規格（形状・寸法等）	数量	単位	備考
園路広場整備工						
ブロック舗装工	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装		t=190	33.4	m2	
園路縁石工	舗装止		120×120×600	24.3	m	
建築施設組立設置工						
四阿工	大型四阿		6900×4200	1.0	基	

凡例

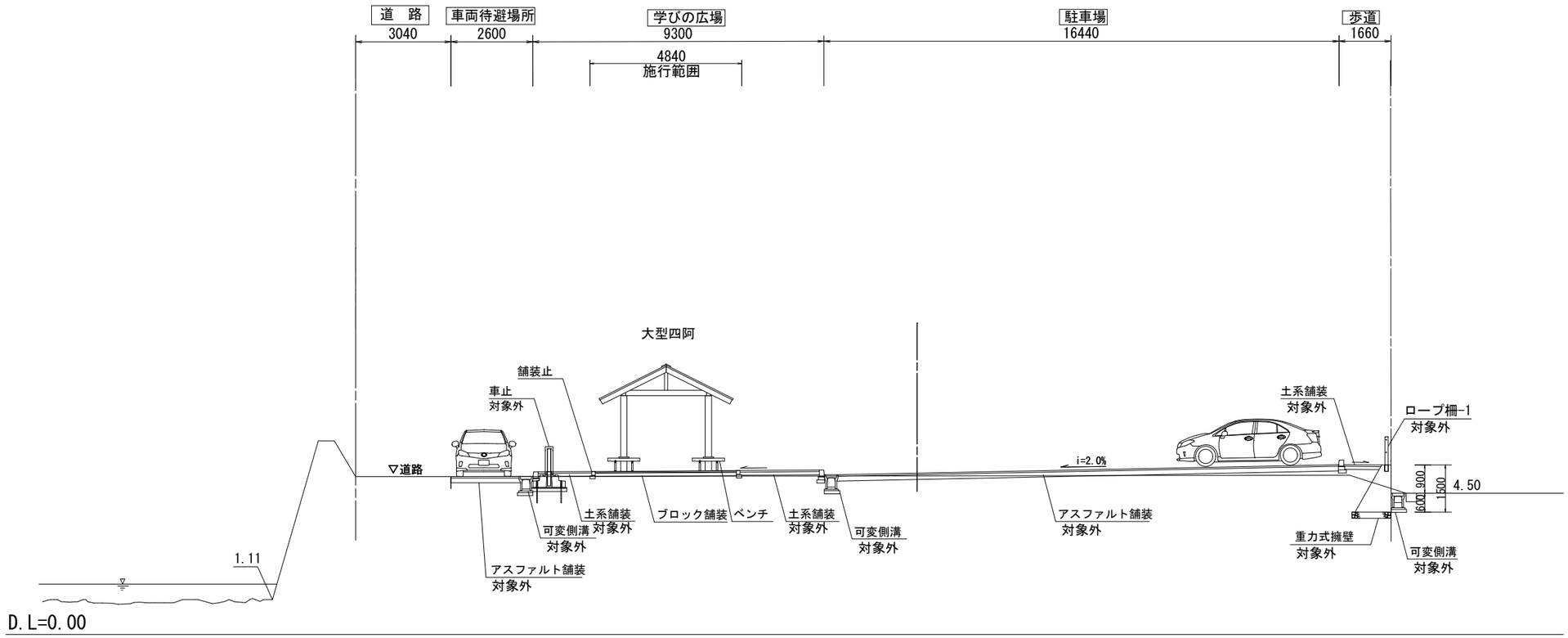
- 4.66 ：現況地盤高
- 4.50 ：計画地盤高

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事		
図面名	施設計画平面図		
年月日	令和8年7月		
縮尺	1/150	図面番号	5/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

標準断面図 S=1/80

(No.3 断面図)

横断図(NO.3)



工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事		
図面名	標準断面図		
年月日	令和8年7月		
縮尺	1/80	図面番号	6/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

K-1
X:251,946.872
Y:59,928.043

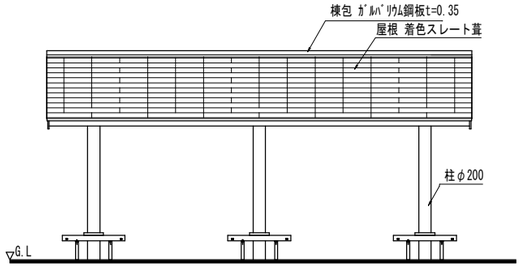
K-2
X:251,961.665
Y:59,899.451

GL-650
GL-900
GL+200
敷地境界線
GL-1000
水路底
GL-1100
GL+250
GL-1200
既設水路
GL-1200
1200
1000
GL+200
GL-250
GL-200
GL+300
GL±0
敷地境界線 19.056
4.300
水路境界線
駐車場
3.000
10.730
延焼の恐れのあるライン
3.000
19.333
GL-150
GL-150
GL-150
GL-100
敷地境界線 18.196
3.700
軒先ライン
2,900
750
最高の軒高 GL+2.580
2,150
750
申請建物
750
最高の高さ GL+3.410
750
軒先ライン
学びの広場
GL±0
スロープ
水路境界線
GL-1200
K.B.M
R2NO.1
4.791
既設トイレ
1000
電柱
スピーカー柱
GL+450
GL+650
車両待避場所
入口部
GL-150
5.226
GL-150
GL-150
GL-150
6.477
6.616
3.753
2.919
道路後退線
車両待避場所
11.870
4.500
GL-100
入口部
道路中心線
3.840
2.989
道路境界線
11.888
2.000
GL-170
GL-170
GL-170
道路中心線
市 道
法第42条2項道路
4.000
3.100
2.000

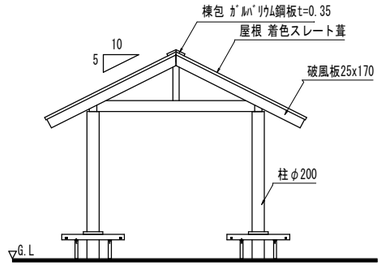
配置図 1/200

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事		
図面名	配置図		
年月日	令和8年7月		
縮尺	1/200	図面番号	7/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

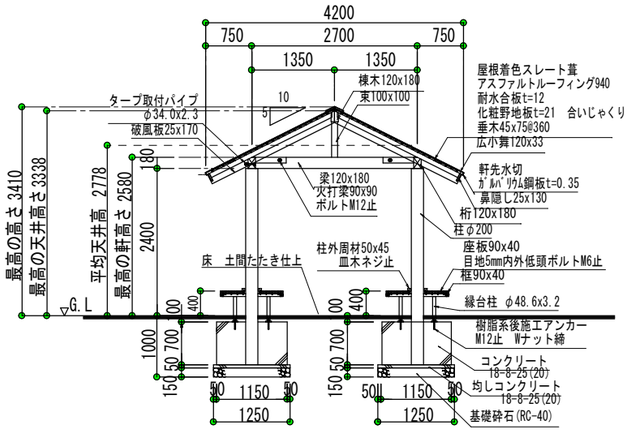
構造図(1)
大型四阿



南立面図 S=1:100

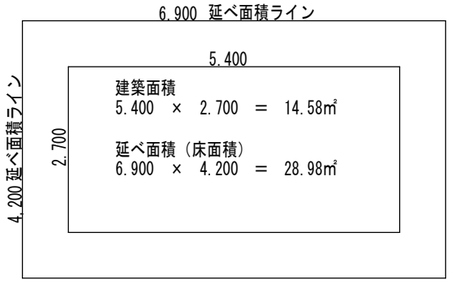


東立面図 S=1:100

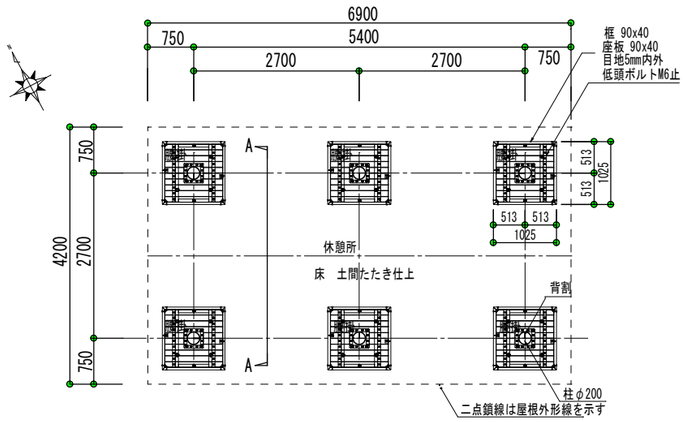


A-A 断面図 S=1:100

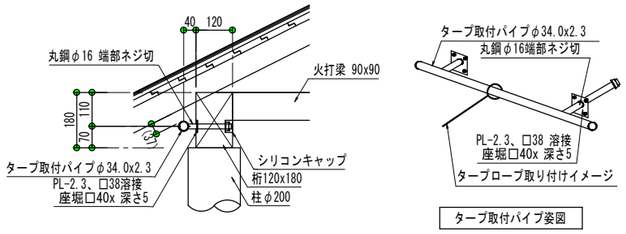
平均天井高計算 $\dfrac{5.400\times2.700\times2.400+5.400\times2.700\times0.758\times1/2}{5.400\times2.700}$ ＝ 2.778ｍ（平均天井高）



床面積算定図 S=1:100



平面図 S=1:100

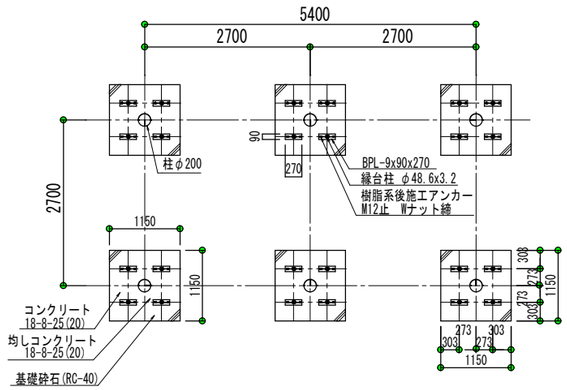


ターブ取付パイプ姿図

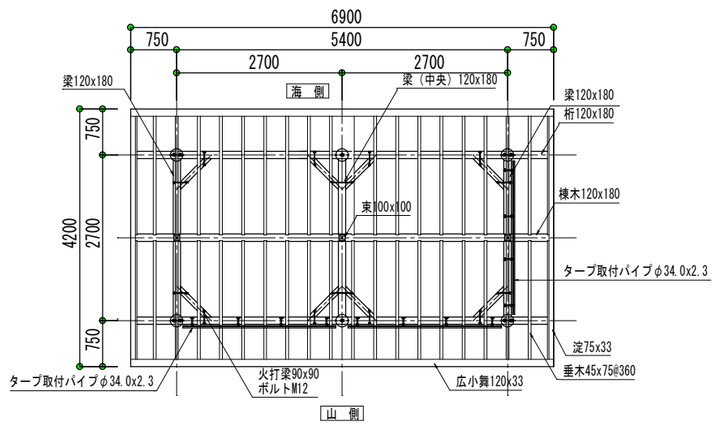
※ターブ取付パイプの取付は参考である。
発注者と協議の上で施工すること。

※ターブは別途

ターブ取付パイプ詳細図 S=1:20



基礎伏図 S=1:100



小屋伏図 S=1:100

<仕 様>

木材	木材は地域流通材杉材（角材はﾌﾞﾚｰﾅｰ加工、丸太材はﾛｰﾀﾘｰ加工）を使用。
	縁台は合成木材（無垢材）を使用する。
	木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
	木材は全て加工後、K4AQ一種木材保存剤を加圧注入処理する。
	加圧注入方法はJIS A9002による。
	木材の見え掛り部は面取を行なう。
	柱は背割を行なう。
	木材の見え掛り部は木材表面保護塗料ガードラック塗装とする。
	柱脚部は、地際上下15cmの範囲にサンプレザーOGRを塗布を行う。
	耐水合板は、加圧注入処理は行わないものとする。
鋼材	鋼材は図示無き限り、電気亜鉛めっきとする。
	鋼材の見え掛り部は、変性エポキシ樹脂塗料による下塗りの上、ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ樹脂塗装とする。塗装色はコゲ茶（19-20B）とする。
ボルト類	ボルト・コーチスクリューは、図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
	木ねじ類、低頭ボルトは、図示無き限り、ステンレスとする。
座堀	見え掛り（木材表面）のﾎﾞﾙﾄ、ｺｰﾁｽｸﾘｭｰは図示無き限り座堀内に納める。
	見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。（火打梁内側を除く）
桁と柱はコーチスクリューで接合を行う。	
製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。	
設計条件や商品改良によって図面を変更する場合があります。	
設計地耐力は、長期50kN/m2、短期100kN/m2を想定する。	
積雪は30cm未満を想定する。	
風速は34m/s以下とする。	

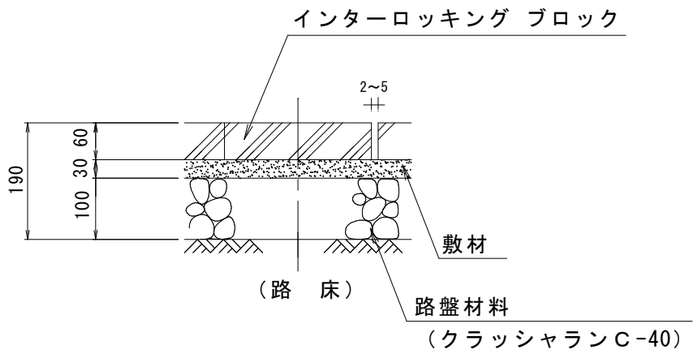
工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園天神崎園地四阿建築工事		
図面名	構造図(1)		
年月日	令和8年7月		
縮尺	図 示	図面番号	8/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		

構造図(2)

舗装・縁石構造図

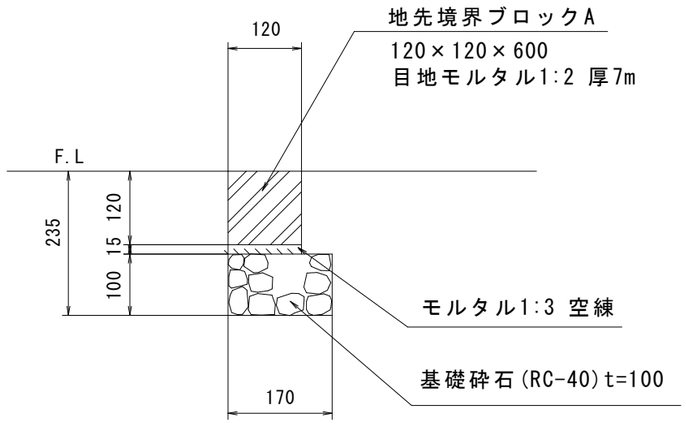
ブロック舗装

断面図　S=1:5



舗装止

断面図　S=1:5



〈舗装止〉
・ブロックは、JIS製品とする。
・目地モルタルは、配合1:2、目地厚さ7㎜とする。

工事名	令和７年度(繰越)吉野熊野国立公園 天神崎園地四阿建築工事		
図面名	構造図(2)		
年月日	令和8年7月		
縮尺	図　示	図面番号	9/9
受注者名			
発注者名	環境省近畿環境局		